

明治大学大学院

情報コミュニケーション研究科

特別講義

思想家としての海保青陵

ネットワーク分析からの接近

ミヒャエル・キンスキー教授

ミヒャエル・キンスキー教授はドイツの
ゲーテ大学フランクフルト・アム・マインの
日本学で日本文化史・日本思想史を担当する。

本講義でキンスキー教授が取りあげるの
は、江戸時代後期の知識人、海保青陵である。

経世家としての海保青陵はこれまで、その思想の
吟味をつうじて「モダニズムの先駆者」「合理主
義者」として特徴づけられてきた。その評価については論争が尽きなかった事実
は、彼の思想が慎重を要するほど重要だと見なされてきた証である。

今回、キンスキー教授は思想史の方法論としてケンブリッジ学派(Q・スキナー、
J・ポーコック)に依拠して、海保青陵の思想とその思想史上の役割を、江戸時代
のコンテクストの置いてみることで再検討する。ネットワークにおける多様な文
化的、社会的傾向の交点に海保青陵を見ることで、キンスキー教授はさらに、そ
れらの傾向が生みだされたダイナミズムの解明をめざす。

日時●2016年9月23日(金)16:00～ 申込**不要**

会場●明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント 3F 4031 教室

言語●講演、質疑応答ともに**日本語**

主催●明治大学大学院情報コミュニケーション研究科

お問い合わせ先●明治大学大学院情報コミュニケーション研究科

http://www.meiji.ac.jp/dai_in/infocom/

